

鉄の歴史館

釜石市は、安政4(1857)年12月1日に、盛岡藩士・大島高任が当地で産出する鉄鉱石から洋式高炉での製鉄を試み、日本で初めて鉄の連続生産に成功した「近代製鉄発祥の地」です。大島高任の偉業と釜石の製鉄業に携わった先人たちの功績を後世に伝え残すため、当館は昭和60(1985)年7月にオープンしました。

近代製鉄の父 大島高任

文政9(1826)年、盛岡藩の侍医の子として生まれ、17歳から江戸や長崎、大阪で西洋の技術を学びました。その後、水戸藩に雇われ、那珂湊に大砲製造炉である反射炉を建設しました。

しかし、砂鉄原料の鉄では強度に問題があり、良質な鉄鉱石が大量に埋蔵されている釜石の大橋に洋式高炉を建設し、鉄鉱石から鉄を連続生産することに成功しました。



世界遺産「明治日本の産業革命遺産」 橋野鉄鉱山

釜石の北西部の山中に位置し、日本現存最古の高炉をはじめ、鉄鉱石の採掘から製錬までのすべての工程を示す遺産で、3基の高炉や水路、御日払所などの初期の近代製鉄の遺構が、豊かな森林や川に囲まれた美しい景観とともに残っています。

平成27(2015)年に登録された「明治日本の産業革命遺産」の構成資産の一つとなっています。



(三番高炉)



- 開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時まで)
- 休館日 毎週火曜日・12月29日～1月3日
- 入館料金

区分	個人	団体(20名以上)
小・中学生	150円	100円
高校生	300円	200円
一般	500円	400円

※市内の主要ホテル等で配布する優待券1枚で5名様まで団体料金で入館できます。
※障がい者の方は無料となります。障害者手帳をご提示ください。



交通アクセス

- バス：JR・三陸鉄道釜石駅前より約11分、
「観音入口」下車、徒歩5分
- タクシー：JR・三陸鉄道釜石駅より約10分

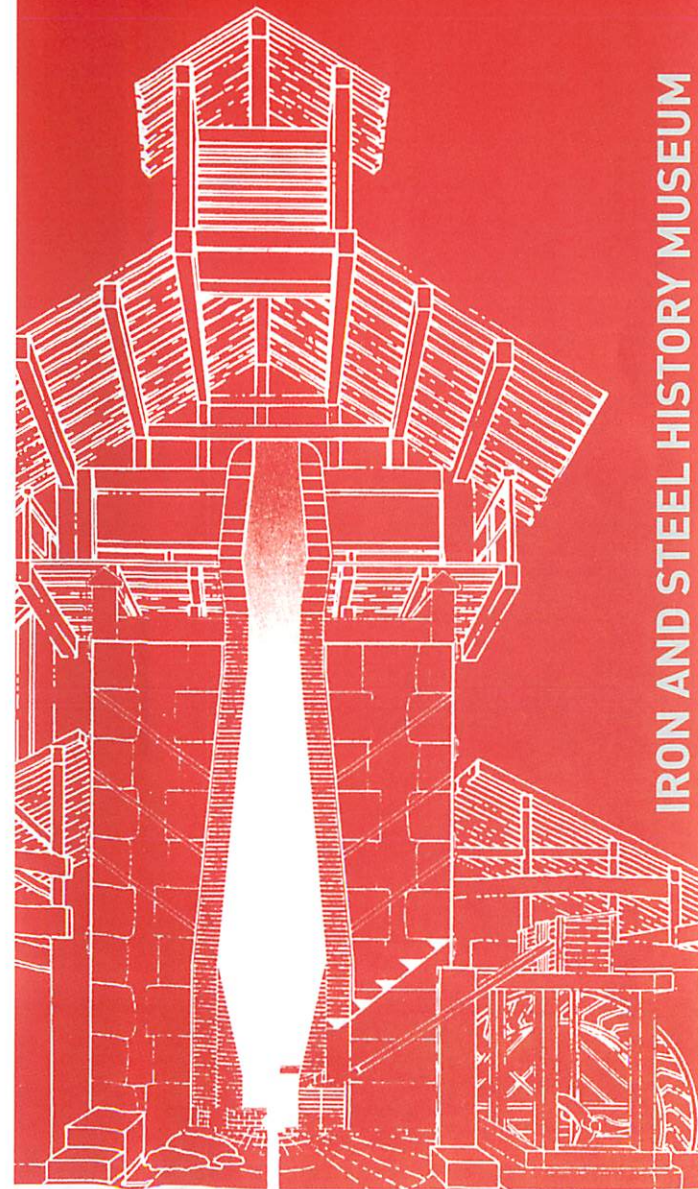
鉄の歴史館

〒026-0002 岩手県釜石市大平町3丁目12番7号
電話 0193-24-2211 FAX 0193-24-3629
<http://www.city.kamaishi.iwate.jp/rekishikan/>



釜石市立

鉄の歴史館



IRON AND STEEL HISTORY MUSEUM



大島高任とサイ太郎がみなさまをご案内!

総合演出シアター

鉄は語る炎の世紀

橋野鉄鉱山の三番高炉を原寸大で再現。
マルチイメージスクリーンを使い、当時の鉄づくりの様子や
釜石の歴史を、迫力の音と光と映像で紹介。
(上映時間：約17分)

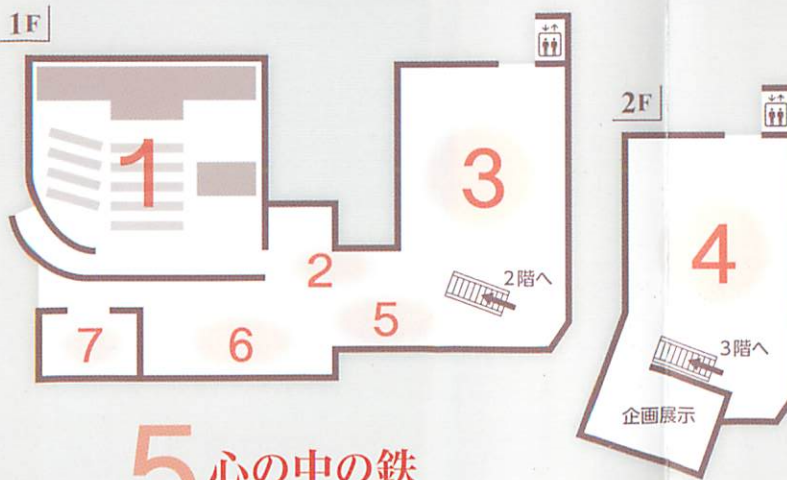
磁石がくっつく
「磁鉄鉱」。
ためてみよう!

2 鉄文化の黎明

製鉄技術の始まりや、
日本・東北に伝わって
きた鉄の文化



人類が鉄を知る
きっかけとなった
「ギベオン隕鉄」



5 心の中の鉄

鉄にまつわる生活の知恵や
ことわざなど

7 鉄と遊ぶ



知恵の輪など
鉄のおもちゃが
いっぱい!

こんなことも!

金属鑄造体験

(詳しくはお問い合わせください)



6 鉄と豊かな暮らし

私たちの生活の中にある鉄製品や
鉄ができるまでの過程をわかりやすく紹介



3 近代製鉄の発進

大島高任が日本初の洋式高炉を
完成させるまでの道のりや
当時の釜石の高炉を紹介



洋式高炉の操業の様子
(ファンタビュー)

4

製鉄産業と釜石

隆盛を極めた釜石の鉄鉱産業の近代化と
そこに登場する先駆的人物を紹介



特別展示



3F/4F

アンモナイトレプリカ

高さ12メートル、幅16メートルのアンモナイト化石群の実物大レプリカ。フランスのディーニュ・レ・バン市から運び込まれた。

4階展望テラスからは釜石湾の絶景が!

